違法・有害情報対策活動報告

2018年1月~12月



- 般社団法人セーファーインターネット協会
Safer Internet Association

SIA の活動趣旨

一般社団法人セーファーインターネット協会(SIA)は、インターネットビジネスに携わる企業の有志によって 2013 年 11 月に設立された団体です。青少年を含めスマートフォンの利用が一般化し、SNS、動画投稿・共有サイト、まとめサイトやメッセージアプリなど多様なサービスが普及するなか、インターネットがもたらす利便性は一段と高まるとともに、その弊害に対する懸念も強まっています。児童ポルノ、リベンジポルノ、危険ドラッグや覚せい剤等の違法薬物の販売情報、犯罪に巻き込まれるおそれのある情報など、インターネット上にはさまざまな違法・有害情報が流通しており、こうした状況への対策が求められています。

SIA は、このような問題に対して、実態を踏まえた実効的な対策を講じ、トラブルの解決、被害の軽減などを通じて、安全なインターネット環境の実現に貢献していくことを目的に活動しています。SIA は、インターネットに対する信頼を築き、維持することが、インターネットという私たちの日常生活や知的活動の基盤を継続的に発展させる上で重要だということを自覚しています。

SIA は、インターネットのもたらす正の側面を喧伝するだけでなく、負の側面に対しても実態を踏まえた実効的な問題解決を進め、インターネットに対する信頼を築くための活動を進めてまいります。

■正会員







ヤフー株式会社

アルプスシステムインテグレーション株式会社

ピットクルー株式会社

■賛助会員



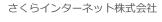




株式会社サイバーエージェント









アマゾンジャパン合同会社





かっこ株式会社

MM .com



AOS データ株式会社



株式会社メルカリ



au コマース&ライフ株式会社



GMO ペパボ株式会社



株式会社 DMM.com

トランスコスモス株式会社

■協力企業



トレンドマイクロ株式会社

2019年4月現在

1. ホットライン活動 一 違法・有害情報の削除に向けた取組み 一

(1) SIA が運用する 2 つのホットライン

SIA では、警察等の関係機関と連携しながら、インターネット・ユーザーの 皆様から通報されたインターネット上の違法・有害情報の削除を促す活動を行っています。こうした活動は「ホットライン活動」とも呼ばれ、世界各国で同様の取組みが進められています。SIA は、2013 年 11 月から民間企業の自主的取組みとしての「セーフライン」、2016 年 4 月から警察庁の委託事業としての「インターネット・ホットラインセンター」(IHC) 1の日本における 2 つの主要なホットライン運用しています。

この2つのホットライン活動は、互いの活動が重複しないように業務を分担して実施されています。具体的には、警察庁委託事業であるIHCは国内サイトに掲載された違法情報を取り扱い、民間の自主取組みであるセーフラインは国外サイトに掲載された違法情報と、国内および国外サイトに掲載された有害情報を取り扱っています。ただし、いわゆるリベンジポルノについては、IHCのガイドラインに含まれていないため、掲載されているサイトが国内であるか国外であるか、また違法情報であるか有害情報であるかを問わず、セーフラインにおいて対応をしています。また、後述のとおり、自殺の誘引・勧誘については有害情報に分類されますが、社会的な要請等の背景を受けて、2018年1月より、IHCにおいても対応を開始しております。

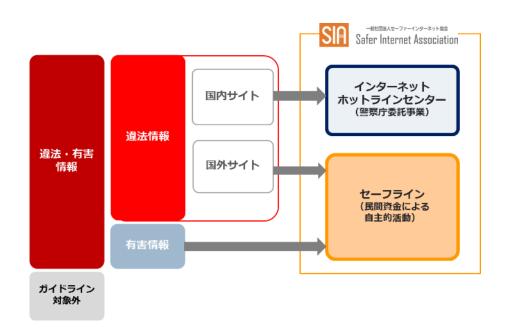
こうした SIA のホットライン活動においては、IHC については警察庁委託事業であること、セーフラインについても民間の自主的取組みではあるものの恣意的な運用がなされればインターネット上の表現活動に萎縮を招くことになりかねないことから、各ホットラインは透明性を確保するための措置を講じています。具体的には、IHC においては運営委員会と運用ガイドライン検討協議会²を、セーフラインにおいては外部専門家によるアドバイザリーボード³を設置しています。これらの会議体には、法学研究者、弁護士、児童福祉団体、関係事業者等が参加し、活動状況、実績等について一定期間ごとに評価等を行った

¹ 日本におけるホットライン活動は、セーフラインが活動を開始する以前の 2006 年から警察庁の委託 事業として「インターネット・ホットラインセンター」(IHC)が運営されてきました。

² 運営委員会および運用ガイドライン検討協議会のメンバーについては、IHC のホームページをご覧ください。http://www.internethotline.jp/pages/about/construction

³ 委員として、宍戸常寿 東京大学大学院法学政治学研究科 教授、曽我部真裕 京都大学大学院法学研究 科 教授、長瀬貴志 山崎法律事務所 弁護士。法律顧問として、森亮二 英知法律事務所 弁護士。

り、ガイドラインや運用等がインターネット上に流通する情報をめぐる状況に 対応しているかを検討し、必要に応じて見直しを行っています。



IHC とセーフラインが対象とする違法・有害情報

こうしたホットライン活動は日本だけの動きではなく、特に EU 諸国を中心に各国にホットラインの機能を担う組織が置かれ、相互の連携も深まっています。代表的な組織としては、児童ポルノに関して各国のホットラインが連携する母体である INHOPE ⁴が挙げられます。SIA も 2016 年より、INHOPE に加盟し、各国のホットラインと連携しながらインターネット上の児童ポルノの削除等に当たっています。

(2) ホットライン活動の概要

IHC とセーフラインでは、インターネット上の違法・有害情報について、ウェブサイトに通報フォームを設け、一般のインターネット・ユーザーの皆様から違法・有害情報に関する通報を受け付けています。また、セーフラインでは、特に深刻な被害をもたらす違法・有害情報(児童ポルノ、リベンジポルノ等)に対しては、自ら能動的にサイトパトロールを実施し、積極的に問題情報

⁴ International Association of Internet Hotlines http://www.inhope.org/gns/home.aspx

の把握に努めています。

SIAでは、このようにして把握した情報のうち、運用ガイドライン⁵に基づき 違法または有害と判断された情報に対して、警察への通報とともにサイト管理 者やプロバイダへの削除要請などを実施しています。

違法・有害情報の対応フロー(セーフラインの例)



セーフライン通報画面 6



IHC 通報画面 7



なお、セーフラインは民間の自主的活動としてより柔軟な対応が可能である ことから、以下の2点に注力しています。

⁵ IHC ホットライン運用ガイドライン http://www.internethotline.jp/pages/guideline/index セーフライン 運用ガイドライン https://www.safe-line.jp/wp-content/uploads/safeline_guidelines.pdf

⁶ セーフライン通報画面 https://www.safe-line.jp/

⁷ IHC 通報画面 http://www.internethotline.jp

① 国外サイトへの直接の削除依頼

私たちが普段利用しているインターネット上のサイトは、日本語表記のサイトであっても、外国の企業や個人によって運用されていたり、日本の企業や個人によって運用されていても外国のサーバーを利用して運用されていることがあります。外国のサーバーで運用されているサイトを、ここでは仮に「国外サイト」と呼ぶと、現在、国内で問題となるインターネット上の違法・有害情報のうち、その多くが国外サイトに掲載されています(後掲2.(2)参照)。

国外サイトに掲載された情報は、たとえ日本では違法であっても海外では違法でない場合もあり、国外サイトに削除依頼を出しても依頼どおりに情報が削除されるとは限りません。しかしながら、セーフラインでは、たとえ海外では必ずしも違法とはいえない情報であっても、日本の事情や被害者の実情を伝え、削除の必要性を訴えることで、相応に削除がなされるのではないかとの考えのもと、国外サイトに対しても英語等で直接削除依頼を出しています。詳細な数字は次のパートでご紹介しますが、これまでのところ、たとえ国外サイトであっても多くの情報が削除されています(後掲2.(3)参照)。

② 新たな社会問題への迅速・柔軟な対応

セーフラインでは、社会問題の実態に迅速かつ柔軟に応じられるよう、ホットライン活動に取り組んできました。リベンジポルノや危険ドラッグ販売情報、遺体・殺害行為の動画像について、いち早く対応してきた他、2018年には自殺関連情報についても対応を強化しました。その他、3Dプリンタによる銃砲の製造に関する情報への対応など、新たな社会問題について迅速に対応しています。

2. 違法・有害情報対策活動状況

(1) 通報・パトロールで把握した情報の件数

2018 年に SIA が 2 つのホットライン (IHC、セーフライン) を通じて<u>把握し</u> た情報は合計 582,570 件でした。これらの情報をガイドラインに基づき分類すると、「違法情報」が 53,729 件、「有害情報」が 4,842 件、「ガイドライン対象外」が 523,999 件でした。2017年の把握数 635,142 件と比較すると、約 52,000 件減少、違法・有害情報合計数 45,100 件(違法情報: 43,647 件、有害情報: 1,453 件)と比較すると、約 13,000 件増加となり、昨年より把握数は減少したものの、違法・有害情報は増加したという結果となりました。



2018年 把握数内訳

通報・パトロールで把握した情報の件数の経年比較(2016年から2018年)

SIA が 2 つのホットラインの運営を開始した 2016 年から 2018 年まで把握数と違法・有害情報の推移を見ると、把握数は 2017 年が約 63 万件で最多、最少は 2016 年の約 29 万件でした。違法・有害情報数の割合には最大で 10 ポイントほど差があるものの、違法・有害情報数は 4 万件~5 万件の間で推移していました。

把握数内訳(2016年~2018年)



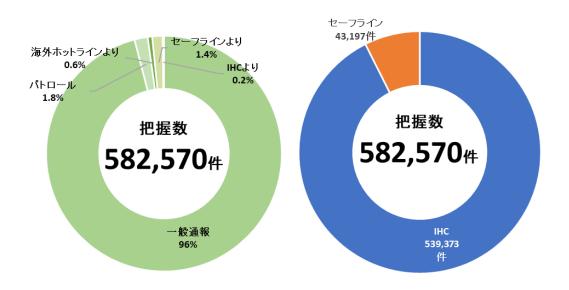
■把握数 ■違法・有害情報 ●割合

通報種類内訳:全体として情報の大半が一般からの通報

2 つのホットラインを通じて把握した情報 582,570 件のうち、約 96%が一般の方々からの通報によるものです。セーフラインが行うサイトパトロールによる把握は全体の 1.8%となっています。その他は、海外ホットラインからの情報連携、IHC とセーフラインの相互の情報提供などにより構成されています。

また把握数のホットラインの割合は IHC が 539,373 件、セーフラインが 43,197 件で、92%の情報が IHC が把握した情報でした。

2018年 把握数内訳(全体とホットライン別受領割合)



IHC とセーフラインそれぞれのホットライン別に通報種類の内訳をみると以下のような特色があります。

① IHC は大半が一般からの通報

IHC が把握した情報の 98%が一般からの通報でした。次にセーフラインからの情報提供が 1.5%、INHOPE に加盟する海外ホットラインからの提供情報(日本国内に蔵置される児童ポルノ情報)が 0.7%でした。

2018年 把握数内訳 (IHC)
IHC
をセーフラインより
0.7%

把握数

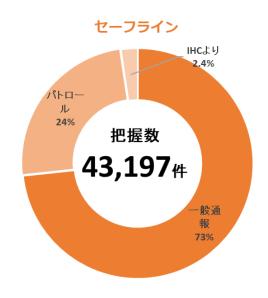
539,373件

一般通報
98%

9

② セーフラインは約2割がパトロールによるもの

セーフラインは一般からの通報受付と並行して、児童ポルノやリベンジポルノなどの違法情報が多く掲載されているサイトのパトロールを行っています。 2018 年のパトロールの構成比は 24%でした。 2017 年のパトロールの割合 20%と比較すると微増という結果となりました。



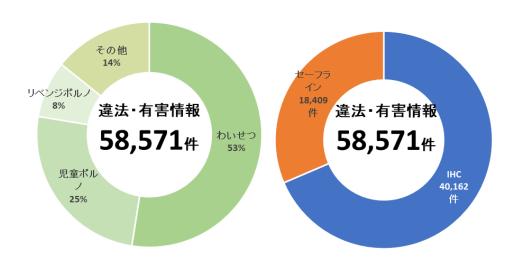
2018 年 把握数内訳 (セーフライン)

違法・有害情報の内訳

2 つのホットラインにおいて、違法情報 (53,729 件) または有害情報 (4,842 件) と分類された 58,571 件の内訳を見ると、「わいせつ」が 53%、「児童ポルノ」が 25%、「リベンジポルノ」が 8%、「その他」が 14%となっています。

また把握数のホットラインの割合では IHC が 40,162 件、セーフラインが 18,490 件となり、違法・有害上の 68%が IHC に通報された情報でした。

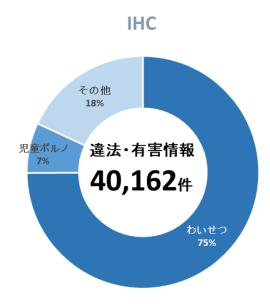
2018年 違法・有害情報内訳(全体とホットライン別の割合)



違法・有害情報の内訳をそれぞれのホットライン別に見ると以下のような特色があります。

① IHC で把握した違法・有害情報では「わいせつ」が 7 割を占める IHC が把握した違法・有害情報は、「わいせつ」が 75%、次いで「児童ポルノ」が 7%、「その他」が 18%でした。

2018年 違法・有害情報内訳 (IHC)

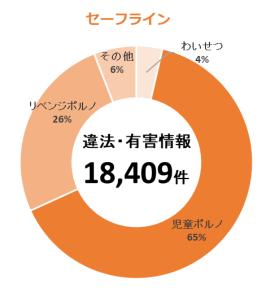


② セーフラインで把握した違法・有害情報は「児童ポルノ」と「リベンジポ

ルノ」が約9割

セーフラインが把握した違法・有害情報は、「児童ポルノ」が 65%、次いで「リベンジポルノ」(26%) となり、「わいせつ」は 4%でした。

2018年 違法・有害情報内訳(セーフライン)



(2) 違法・有害情報掲載サイトの所在地

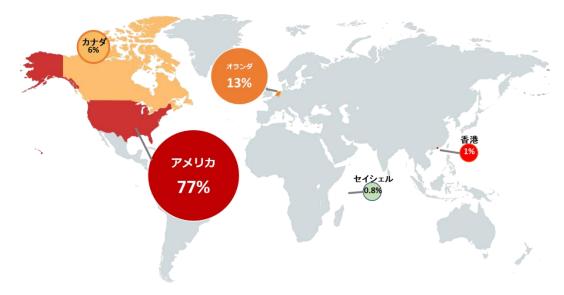
2つのホットラインが把握した違法・有害情報の蔵置先をみると、<u>国内サイトが 8.3%、国外サイトが 91.7%であり、9 割近くの違法・有害情報が国外サイトに掲載されていました。2017年(国内 11%、国外 89%)と比較すると、国外サイトに掲載される違法・有害情報が増加したという傾向が見られました。</u>

違法・有害情報掲載サイトの所在地



※サイトの所在地は、対象サイトの IP アドレスの登録情報に基づいて分類

さらに国外の情報を国別に見てみると、米国が 77%を占め、そのあとにオランダ 13%、カナダ 6%と続きます。



違法・有害情報掲載サイトの所在地(国別)

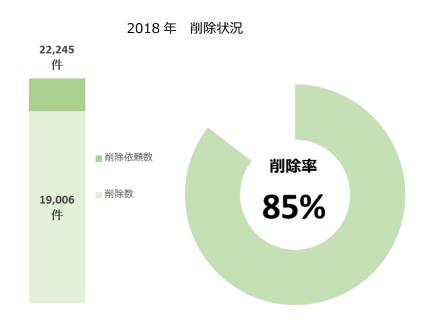
※違法・有害情報のうち国外サイトに掲載されたものから計算

(3) 削除状況

2018年に2つのホットラインから、国内外の違法・有害情報を掲載するサイトの管理者やプロバイダに対し削除依頼を行なった件数は合計で22,245件、

このうち <u>85%にあたる 19,006 件が削除</u>されました。2017 年(削除依頼数 18,850 件、削除数 16,471 件、削除率 87%)と比較すると、ほぼ横ばいでした。

なお、2016 年までは IHC から削除依頼をした情報については、削除依頼後5日以内に削除された場合に限って削除されたものとして扱っておりましたが、2017年以降は、削除依頼後の日数にかかわらず、翌年3月時点での削除状況に基づいて統計を出しています。



国内外サイトの削除率の比較

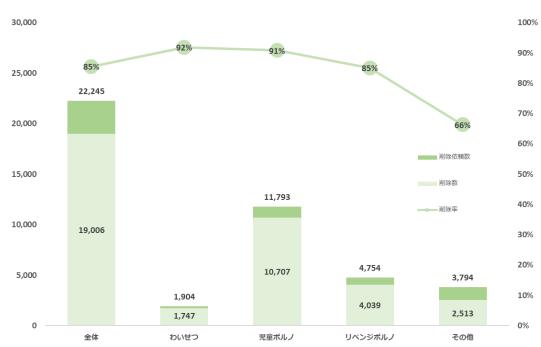
セーフラインでは、国外に蔵置される違法・有害情報についても削除依頼を行なっています。日本の国内法で違法と判断される情報であっても外国では違法と判断されないこともありますが、実際のところ、国内と国外の削除率に大きな差はありません。国内サイトの削除率は86%,国外サイトは85%といずれも高い削除率を達成しています。

2018年 削除状況(蔵置先)



主要分類別の削除状況

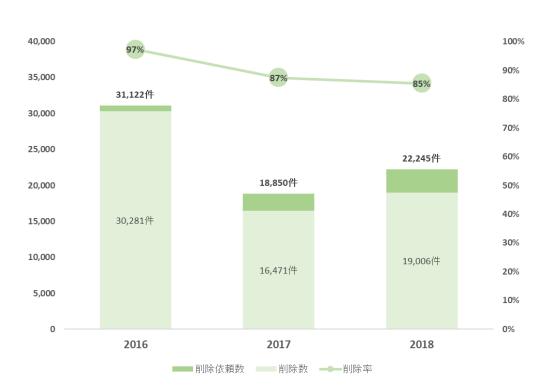
主要分類別の削除状況をみると、「わいせつ」、「児童ポルノ」ともに 90%以上と高い削除率を実現しています。また、セーフラインが対応している「リベンジポルノ」は 85%でした。



2018 年主要分類別の削除状況

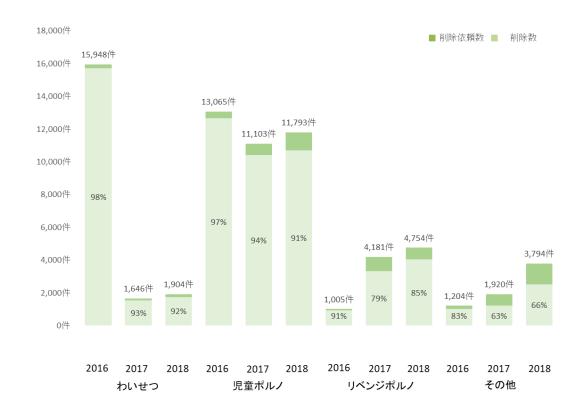
削除状況の経年比較(2016年から2018年)

SIA が 2 つのホットラインの運営を開始した 2016 年からの 2018 年までの 削除状況の推移を見ると、削除数・削除率ともに 2016 年が 97%と最多でした。この内訳をみると。2016 年は「わいせつ」の削除依頼数・削除数が他の 年と比べ突出で多く、また他の情報の削除数依頼数・削除数が「わいせつ」ほど大きな変化がないことから、「わいせつ」への対応が大きく影響していると 考えられます。その他、「児童ポルノ」については 13,000 件~11,000 の間で 推移。「リベンジポルノ」については年々増加していることがわかります。



削除状況(全体)(2016年~2018年)

削除状況(情報別)(2016年~2018年)



「児童ポルノ」と「リベンジポルノ」の削除状況

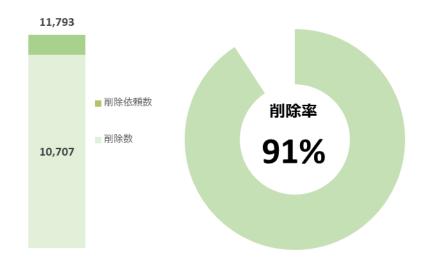
SIA が対応している違法・有害情報のうち、個人に深刻な被害をもたらすものとして特に重点的に対応している「児童ポルノ」と「リベンジポルノ」についての詳細は以下のとおりです。

① 児童ポルノ

通報受付とパトロールで把握した国内外の児童ポルノ掲載サイトに削除依頼した件数 11,793 件のうち、91%にあたる 10,707 件が削除されました。 2016 年からの推移で見ても 3 年連続で 90%以上と高い削除率だったことが分かります。

児童ポルノ掲載方法はここ数年大きな変化はなく、画像アップロードサイトに児童ポルノ画像が掲載され、その画像へのリンクが一般の電子掲示板や 愛好家専用の電子掲示板に掲載されるようなケースが続いています。

児童ポルノ 2018 年削除依頼数・削除率



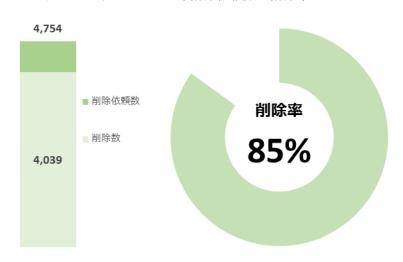
児童ポルノ削除状況 (2016年~2018年)



② リベンジポルノ

通報・パトロールで把握した国内外のリベンジポルノ掲載サイトに<u>削除依</u>頼した件数 4,754 件のうち、85%にあたる 4,039 件が削除されました。2016年からの推移で見ると、80%前後で削除されていることが分かります。

リベンジポルノは、第三者から見てリベンジポルノかどうかの区別がつきにくく、流出させた者とは別のインターネットユーザーによって複数のアダルトサイト等に大量に掲載される場合もあります。2018年も一人の相談者で同一の動画像が数百件から千件を超える掲載があったケースの他、一人の相談者で異なる動画像が数百件から千件を超える掲載があったケースもありました。このように大量に掲載されてしまった場合、削除依頼数は数百件から千件となります。その場合の削除率は7割程度となり、大量拡散してしまった情報の削除の困難さを示す結果となりました。



リベンジポルノ 2018 年削除依頼数・削除率





相談者数の推移

2018年のリベンジポルノの相談者数は 187名と 2017年の 150名と比べ 30名以上増加しました。これは、SIAが開設した被害者向けの啓発サイト⁸の開設やメディア掲載の増加により SIA のリベンジポルノへの取組みの認知が向上したことが大きな要因であると考えています。

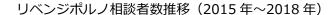
SIA ではリベンジポルノの通報の際には、年齢などについて確認することはありませんが、対応する中で読み取れる相談者の傾向としては、「女性」、

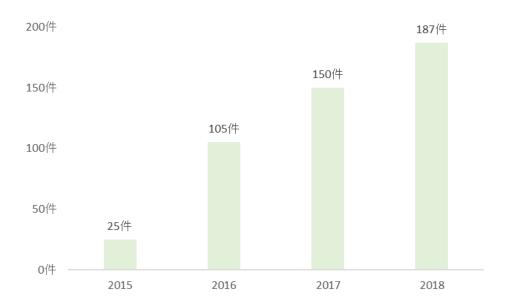
「20 代と思われる相談者」の割合が高い傾向もここ数年変化はありません。 相談内容としては、裸の写真などを自分で撮影するいわゆる「自画撮り」の 流出については、10 代~20 代前半に多く、それより高い年齢層では、合意 の上で撮影されたと思われる画像流出の相談が比較的多い傾向がありました。

リベンジポルノ画像など情報の流出先についてもここ数年、大きな変化はなく、アダルト動画配信サイト、一般の動画配信サイト、SNS 等への投稿されるケースが続いています。

20

⁸ 被害者向け啓発サイト https://www.safe-line.jp/against-rvp/





3. 今後の方針

インターネット上に次々に新しい技術やサービスが登場し、人々のインターネットの利用のあり方も不断に変化しています。そのような変化に応じて、インターネット上で引き起こされる問題の姿もさまざまに変わっていくと予想されます。SIA では、今後もそのような変化に柔軟に対応して実効的な問題解決と安全なインターネット利用環境の実現に貢献できるよう、活動を継続していきます。

インターネット上で日々生じる問題を SIA の活動だけで解決していくのは到底不可能です。これからも、SIA 以外にも民間で広がる多くの取組みや、行政機関・捜査機関との連携を進め、また海外で同様の活動を行っている団体とも協力しながら、安全なインターネット利用環境の実現と自由な表現・言論活動の場の実現の両立のために貢献していきます。

違法有害情報対応状況 -把握数-

A.違法情報	国内	国外	合計
わいせつ電磁的記録記録媒体陳列	2,185	28,566	30,751
児童ポルノ公然陳列	421	13,879	14,300
出会い系サイト規制法違反の禁止誘引行為	_	1	1
売春目的等の誘引	173	652	825
薬物犯罪等の実行又は規制薬物の濫用を、公然、あおり、又は唆す行為	54	106	160
規制薬物の広告	75	2,604	2,679
指定薬物の広告	3	11	14
指定薬物等である疑いがある物品の広告	_	_	-
未承認医薬品の広告(危険ドラッグ含む)	-	-	-
預貯金通帳等の譲渡等の勧誘・誘引	15	288	303
携帯電話等の無断有償譲渡等の勧誘・誘引	6	101	107
識別符号の入力を不正に要求する行為	-	23	23
不正アクセス行為を助長する行為	_	_	-
児童を対象としたいじめに係る画像等	12	2	14
「リベンジポルノ」画像等	727	3,825	4,552
合計	3,671	50,058	53,729

B.有害情報		国内	国外	合計
	けん銃等の譲渡等	-	2	2
	爆発物等の製造	_	-	-
	わいせつ物等の頒布	_	-	-
	児童ポルノの提供	_	4	4
	公文書偽造	15	79	94
	殺人,強盗,強姦,放火,誘拐,傷害,脅迫,恐喝	15	2	17
	偽造通貨の交付・収得	_	-	-
	臓器売買	_	-	-
違法行為を直接的かつ明示的に請	人身売買	_	2	2
負・仲介・誘引等する情報	自殺関与	23	38	61
	硫化水素ガスの製造	_	-	-
	痴漢行為	_	-	-
	不正アクセス	1	-	1
	盗撮行為	_	-	-
	スト一カー行為等	_	-	-
	戸籍謄本等、住民票の写し等の情報等の違法な手段による入手	_	-	-
	児童を対象とした性風俗関連特殊営業を周旋する行為	_	-	-
	その他	-	-	-
	児童ポルノ公然陳列	18	374	392
\.	規制薬物の広告	65	1,360	1,425
違法情報に該当する疑いが相当程度 認められる情報	未承認医薬品の広告(危険ドラッグ含む)	_	11	11
HIGH STORY THE	不正アクセス行為を助長する行為	_	1	1
	私事性的画像記録の公表	63	155	218
自殺の誘引・勧誘		990	1,602	2,592
危険ドラッグの販売又は譲渡を請負、仲介、誘引する情報		1	1	2
遺族の感情を著しく傷つける被害者の	遺体や殺害行為の画像等	-	-	-
望まず閲覧してしまった人に著しく嫌悪	感を抱かせる遺体や殺害行為の画像等	-	20	20
児童を対象としたいじめ行為の勧誘・記	秀引情報	_	_	-
合計		1,191	3,651	4,842

A.違法情報+B.有害情報	国内	国外	合計
合計	4,862	53,709	58,571

違法有害情報対応状況 -把握数-

	国内	国外	合計
わいせつ	2,185	28,566	30,751
児童ポルノ	439	14,257	14,696
リベンジポルノ	790	3,980	4,770
その他	1,448	6,906	8,354
合計	4,862	53,709	58,571

違法有害情報対応状況 -削除依頼数-

A.違法情報	国内	国外	合計
わいせつ電磁的記録記録媒体陳列	1,290	614	1,904
児童ポルノ公然陳列	129	11,656	11,785
出会い系サイト規制法違反の禁止誘引行為	-	0	0
売春目的等の誘引	125	11	136
薬物犯罪等の実行又は規制薬物の濫用を、公然、あおり、又は唆す行為	50	16	66
規制薬物の広告	61	591	652
指定薬物の広告	2	0	2
指定薬物等である疑いがある物品の広告	-	-	-
未承認医薬品の広告(危険ドラッグ含む)	-	-	-
預貯金通帳等の譲渡等の勧誘・誘引	11	27	38
携帯電話等の無断有償譲渡等の勧誘・誘引	6	17	23
識別符号の入力を不正に要求する行為	_	0	0
不正アクセス行為を助長する行為	-	-	-
児童を対象としたいじめに係る画像等	12	2	14
「リベンジポルノ」画像等	727	3,811	4,538
合計	2,413	16,745	19,158

B.有害情報		国内	国外	合計
	けん銃等の譲渡等	-	1	1
	爆発物等の製造	_	-	-
	わいせつ物等の頒布	_	-	-
	児童ポルノの提供	-	4	4
	公文書偽造	4	9	13
	殺人,強盗,強姦,放火,誘拐,傷害,脅迫,恐喝	8	1	9
	偽造通貨の交付・収得	_	-	-
	臓器売買	_	-	-
違法行為を直接的かつ明示的に請	人身売買	_	1	1
負・仲介・誘引等する情報	自殺関与	22	38	60
	硫化水素ガスの製造	_	-	-
	痴漢行為	_	-	-
	不正アクセス	0	-	0
	盗撮行為	_	-	-
	スト一カー行為等	_	-	-
	戸籍謄本等、住民票の写し等の情報等の違法な手段による入手	_	-	-
	児童を対象とした性風俗関連特殊営業を周旋する行為	_	-	-
	その他	_	-	-
	児童ポルノ公然陳列	4	0	4
NA. N. J. + +	規制薬物の広告	18	266	284
違法情報に該当する疑いが相当程度 認められる情報	未承認医薬品の広告(危険ドラッグ含む)	_	0	0
LIBOS STO WITH TR	不正アクセス行為を助長する行為	-	0	0
	私事性的画像記録の公表	63	153	216
自殺の誘引・勧誘		970	1,506	2,476
危険ドラッグの販売又は譲渡を請負、	仲介、誘引する情報	1	1	2
遺族の感情を著しく傷つける被害者の	遺体や殺害行為の画像等	-	-	-
望まず閲覧してしまった人に著しく嫌思	感を抱かせる遺体や殺害行為の画像等	-	17	17
児童を対象としたいじめ行為の勧誘・記	秀引情報	-	-	-
合計		1,090	1,997	3,087

A.違法情報+B.有害情報	国内	国外	合計
合計	3,503	18,742	22,245

	国内	国外	合計
わいせつ	1,290	614	1,904
児童ポルノ	133	11,660	11,793
リベンジポルノ	790	3,964	4,754
その他	1,290	2,504	3,794
合計	3,503	18,742	22,245

違法有害情報対応状況 -削除数-

A.違法情報	国内	国外	合計
わいせつ電磁的記録記録媒体陳列	1,270	477	1,747
児童ポルノ公然陳列	129	10,570	10,699
出会い系サイト規制法違反の禁止誘引行為	-	0	0
売春目的等の誘引	122	11	133
薬物犯罪等の実行又は規制薬物の濫用を、公然、あおり、又は唆す行為	37	8	45
規制薬物の広告	59	214	273
指定薬物の広告	2	0	2
指定薬物等である疑いがある物品の広告	-	-	-
未承認医薬品の広告(危険ドラッグ含む)	-	-	-
預貯金通帳等の譲渡等の勧誘・誘引	11	12	23
携帯電話等の無断有償譲渡等の勧誘・誘引	6	5	11
識別符号の入力を不正に要求する行為	-	0	0
不正アクセス行為を助長する行為	-	-	-
児童を対象としたいじめに係る画像等	6	1	7
「リベンジポルノ」画像等	644	3,217	3,861
合計	2,286	14,515	16,801

B.有害情報		国内	国外	合計
	けん銃等の譲渡等	-	1	1
	爆発物等の製造	_	-	-
	わいせつ物等の頒布	_	-	-
	児童ポルノの提供	-	4	4
	公文書偽造	4	5	9
	殺人,強盗,強姦,放火,誘拐,傷害,脅迫,恐喝	4	1	5
	偽造通貨の交付・収得	_	-	-
	臓器売買	_	-	-
違法行為を直接的かつ明示的に請	人身売買	_	1	1
負・仲介・誘引等する情報	自殺関与	14	31	45
	硫化水素ガスの製造	_	-	-
	痴漢行為	_	-	-
	不正アクセス	_	-	-
	盗撮行為	_	-	-
	スト一カー行為等	_	-	-
	戸籍謄本等、住民票の写し等の情報等の違法な手段による入手	_	-	-
	児童を対象とした性風俗関連特殊営業を周旋する行為	_	-	-
	その他	-	-	-
	児童ポルノ公然陳列	4	0	4
\$ _ \	規制薬物の広告	15	99	114
違法情報に該当する疑いが相当程度 認められる情報	未承認医薬品の広告(危険ドラッグ含む)	_	-	-
mass 2-10 G IA IX	不正アクセス行為を助長する行為	_	-	-
	私事性的画像記録の公表	57	121	178
自殺の誘引・勧誘		633	1,195	1,828
危険ドラッグの販売又は譲渡を請負、	仲介、誘引する情報	1	0	1
遺族の感情を著しく傷つける被害者の	遺体や殺害行為の画像等	-	-	-
望まず閲覧してしまった人に著しく嫌思	E感を抱かせる遺体や殺害行為の画像等	-	15	15
児童を対象としたいじめ行為の勧誘・記	秀引情報	-	-	-
合計		732	1,473	2,205

A.違法情報+B.有害情報	国内	国外	合計
合計	3,018	15,988	19,006

	国内	国外	合計
わいせつ	1,270	477	1,747
児童ポルノ	133	10,574	10,707
リベンジポルノ	701	3,338	4,039
その他	914	1,599	2,513
合計	3,018	15,988	19,006

違法有害情報対応状況 -削除率-

A.違法情報	国内	国外	合計
わいせつ電磁的記録記録媒体陳列	98%	78%	92%
児童ポルノ公然陳列	100%	91%	91%
出会い系サイト規制法違反の禁止誘引行為	-	_	-
売春目的等の誘引	98%	100%	98%
薬物犯罪等の実行又は規制薬物の濫用を、公然、あおり、又は唆す行為	74%	50%	68%
規制薬物の広告	97%	36%	42%
指定薬物の広告	100%	-	100%
指定薬物等である疑いがある物品の広告	-	-	-
未承認医薬品の広告(危険ドラッグ含む)	-	-	-
預貯金通帳等の譲渡等の勧誘・誘引	100%	44%	61%
携帯電話等の無断有償譲渡等の勧誘・誘引	100%	29%	48%
識別符号の入力を不正に要求する行為	-	-	-
不正アクセス行為を助長する行為	-	-	-
児童を対象としたいじめに係る画像等	50%	50%	50%
「リベンジポルノ」画像等	89%	84%	85%
合計	95%	87%	88%

B.有害情報		国内	国外	合計
	けん銃等の譲渡等	_	100%	100%
違法行為を直接的かつ明示的に請 負・仲介・誘引等する情報	爆発物等の製造	_	-	-
	わいせつ物等の頒布	_	-	-
	児童ポルノの提供	_	100%	100%
	公文書偽造	100%	56%	69%
	殺人,強盗,強姦,放火,誘拐,傷害,脅迫,恐喝	50%	100%	56%
	偽造通貨の交付・収得	_	-	-
	臓器売買	_	-	-
	人身売買	_	100%	100%
	自殺関与	64%	82%	75%
	硫化水素ガスの製造	-	-	-
	痴漢行為	_	-	-
	不正アクセス	-	-	-
	盗撮行為	_	-	-
	ストーカー行為等	_	-	-
	戸籍謄本等、住民票の写し等の情報等の違法な手段による入手	_	-	-
	児童を対象とした性風俗関連特殊営業を周旋する行為	_	-	-
	その他	_	-	-
	児童ポルノ公然陳列	100%	-	100%
	規制薬物の広告	83%	37%	40%
違法情報に該当する疑いが相当程度 認められる情報	未承認医薬品の広告(危険ドラッグ含む)	_	-	-
INCOPOSITO WITH TR	不正アクセス行為を助長する行為	_	-	-
	私事性的画像記録の公表	90%	79%	82%
自殺の誘引・勧誘		65%	79%	74%
危険ドラッグの販売又は譲渡を請負、付	中介、誘引する情報	100%	0%	50%
遺族の感情を著しく傷つける被害者の	遺体や殺害行為の画像等	_	-	-
望まず閲覧してしまった人に著しく嫌悪	感を抱かせる遺体や殺害行為の画像等	_	88%	88%
児童を対象としたいじめ行為の勧誘・説	秀引情報	_	-	-
合計		67%	74%	71%

A.違法情報+B.有害情報	国内	国外	合計
合計	86%	85%	85%

	国内	国外	合計
わいせつ	98%	78%	92%
児童ポルノ	100%	91%	91%
リベンジポルノ	89%	84%	85%
その他	71%	64%	66%
合計	86%	85%	85%